

(公財)水道技術研究センター
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1
虎ノ門電気ビル2F
TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215
E-mail jwrchot@jwrc-net.or.jp
URL <http://www.jwrc-net.or.jp>

ドナウ流域の上下水道サービス（その11） －モンテネグロ（Montenegro）－

(出典) Montenegro Country Note

http://sos.danubis.org/files/File/country_notes_pdf/SoS_Montenegro.pdf

(参考) モンテネグロの概要

- 1.面積：13,812 平方キロメートル（福島県とほぼ同じ）
- 2.人口：62 万人（2011 年国勢調査）
- 3.首都：ポドゴリツァ（人口約 15 万人，2011 年国勢調査）

(出典) 外務省 HP

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/montenegro/data.html#section1>



1. 上下水道サービスの組織及び主体

地方自治体は上下水道サービスについて責任があり、22の公共事業会社を通じてサービスを提供している。上下水道サービスを提供する15の地方自治体会社は総人口の50%を占める都市地域をカバーしている。6つの地方自治体多目的事業会社は、（総人口の18%である）大部分の小規模地方自治体にサービスを提供している。中央政府が所有する1つの広域水道会社は、沿岸地域の地方自治体（総人口の8%）に対して水を供給するために特別に設立されている。1事業者当たり平均給水人口は21,466

人であり、モンテネグロの水セクターは他のドナウ諸国と比べると細分化されていると思われる。

[モンテネグロの上下水道サービスの組織及び主体]

水サービス提供事業者数：22 事業者（2012 年、出典：MRT 2012a）

1 事業者当たり平均給水人口：21,466 人（2013 年、出典：筆者の推計）

サービス提供事業者の主なタイプ：地域/地方自治体事業会社

サービスの範囲：上水道及び衛生（下水道）

所有者：地方自治体

地理的な範囲：1～複数市

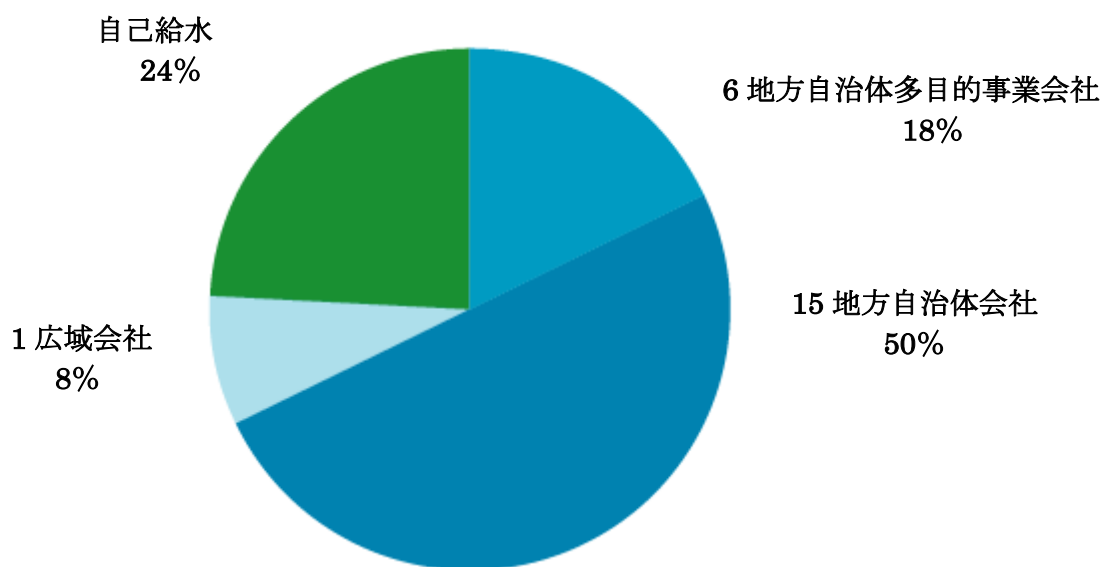
水サービスに関する法令：有

規制機関：無

全国上下水道協会：有（モンテネグロ水道協会（UVCG））

民間セクターの参入：無

図 水サービス提供事業者のタイプ及び割合



(出典) 筆者の推計

2. 上下水道インフラの現状

(訳注) 上水道に関する記述・データなし。

浄水施設数：－

下水処理施設数：4 施設（2014 年、出典：MRT 2012a）

水道管路延長：－

下水管路延長：－

3. 上下水道サービスの業務水準

サービスの継続性及び水消費量には、大きな差異がある。サービスの継続性については、それが問題となる夏季の期間を除いて、ほとんどの水道事業者が1日24時間である。幾つかの地方自治体では依然として長期間の断水があり、サービスの継続時間は1日当たり4~12時間の範囲となっている。2012年において、公共水道の水道水の12,452サンプルについて微生物学的又は物理化学的基準の適合試験が行われ、基準に適合したのは85.5%であった。この基準適合率は、ドナウ流域の他の国々と比較すると低い率であると思われる。沿岸地域において夏季の間に不適合となるのは、塩水の遡上によるものである。使い古された配水管の度重なるトラブルも、微生物学的基準不適合を引き起こしている。

1人1日当たり平均水消費量は237ℓであるが、121ℓ/人・日から494ℓ/人・日とかなり差がある。西欧諸国と比べて、この非常に多い平均消費量は、低廉で補助を受けている水道料金によって悪影響がもたらされている。

[上水道サービスの質]

家庭用1人1日水消費量：237ℓ（2012年、出典：MRT 2012a）

1日の給水時間：23.8時間（2010年、出典：MRT 2012a）

飲料水サンプルの基準適合率：86%（2012年出典：MRT 2012a）

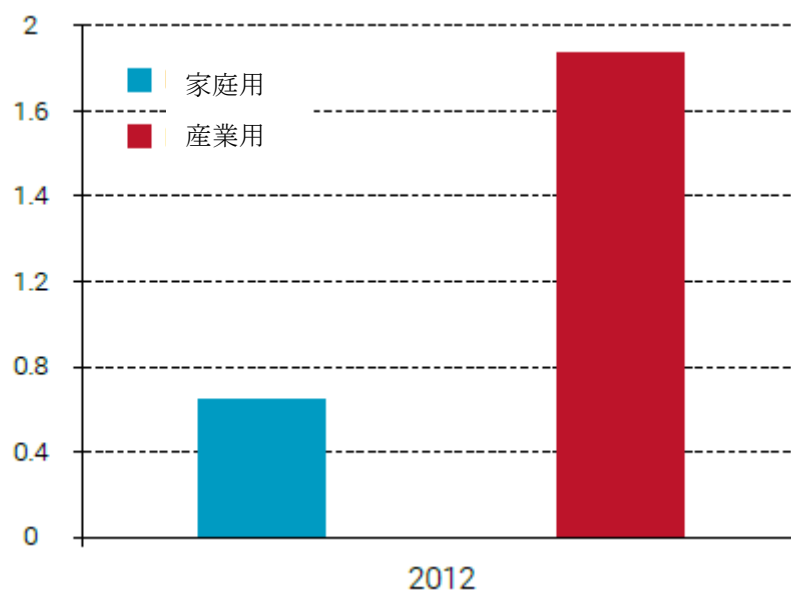
4. 上下水道サービスの効率性

効率性向上に向けたかなりの努力が依然として必要である。効率性向上及び事業者の業務実績は、行政改革戦略（Strategy for Public Administration Reform）によって地方自治体に対して課された目的の一つである（Gov. ME 2011）。59%という無収水率は、ドナウ流域平均と比べると高い率である。この率は、メーター計量の改善に伴い、漏水や未登録接続に対してより正確な計量が行われることにより、最近数十年において上昇している。この無収水率の上昇は、水道管路網の不十分な維持管理や不十分な投資も原因となっている。

5. 上下水道料金

今後何年にもわたって水道料金の大幅な値上げが見込まれる。家庭用平均料金は、0.67ユーロ/m³である。産業用平均料金は家庭用料金よりも179%高く、1.87ユーロ/m³である（MRT 2012a）。

図 上下水道料金の推移



(出典) 筆者の推計

(文責) センター専務理事

安藤 茂

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (公財) 水道技術研究センター ホットニュース担当
E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。

バックナンバー一覧 <http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-h28.html>

水道ホットニュースの引用・転載について

水道ホットニュースの引用・転載等を希望される方は、上記ホットニュース担当までご連絡をお願いいたします。
なお、個別の企業・商品・技術等の広告にはご利用いただけません。